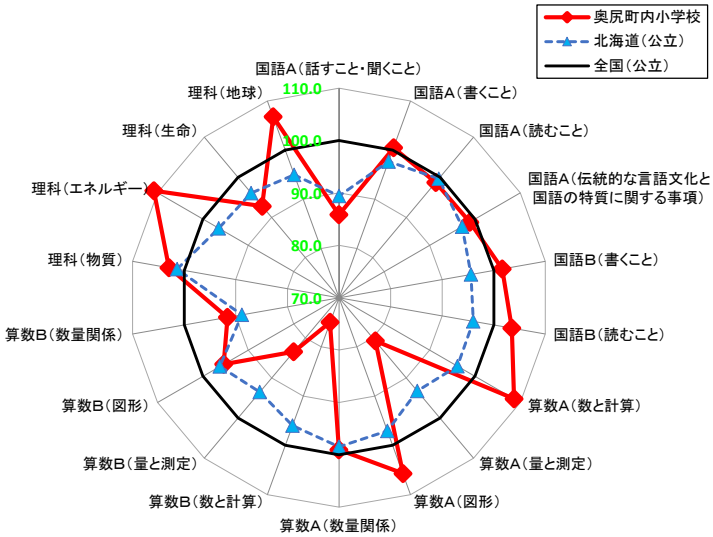
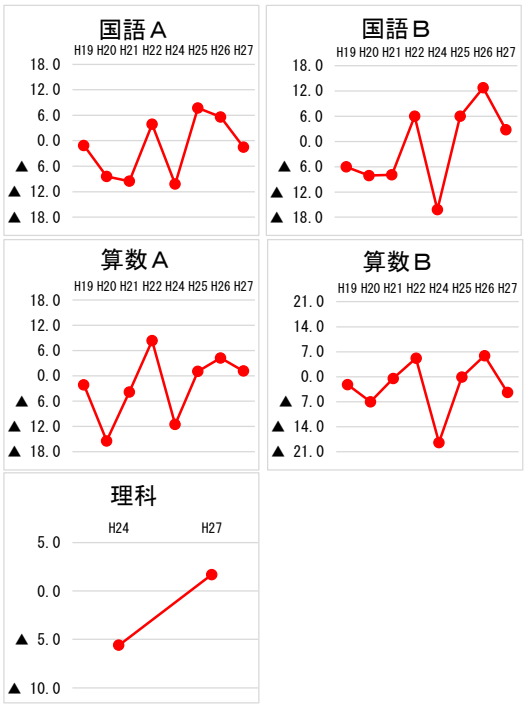
■奥尻町内小学校の状況及び学力向上策（学校数：2、児童数：22名）

【教科全体の状況】

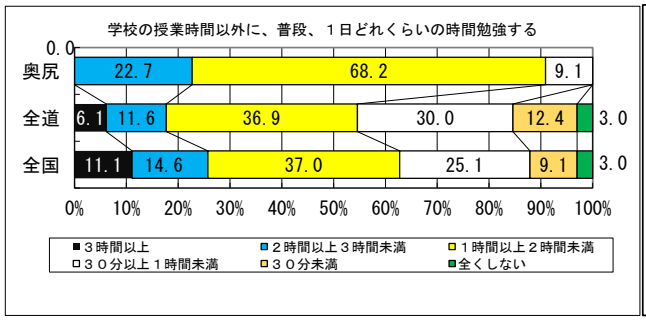
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
（市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）



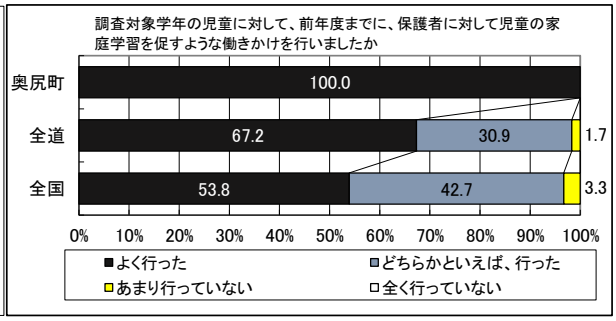
【平均正答率の全国との差の推移】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、A「書くこと」、B「書くこと」「読むこと」で全国を上回っている。 ○ 算数では、A「数と計算」「図形」で全国を上回っている。 ○ 理科では、「物質」「エネルギー」「地球」で全国を上回っている。	○ 学校では、保護者に家庭学習の働きかけを積極的に行い連携を深めており、学校の授業以外に、普段、1日当たり1時間以上勉強する児童が9割以上いることから、家庭学習の習慣が着実に身に付いており、学力の定着につながっていると考えられる。 ○ 指導方法の工夫改善を図るための教職員の専門性や指導力の向上を町全体で進めていることから、算数Aにおける「数と計算」「図形」において児童の学力が確実に身に付いているものと考えられる。
児童質問紙	○ 学校の授業時間以外に、普段、1日当たり1時間以上勉強すると回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。	
学校質問紙	○ 全ての学校が、調査対象学年の児童に対して、前年度までに、保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけを「よく行った」と回答している。	

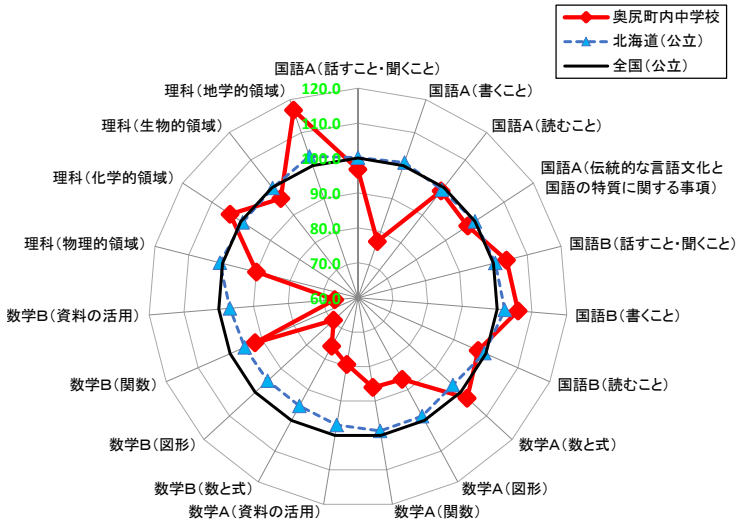
【奥尻町の学力向上策】

◎ 家庭との連携を深め、生活習慣のリズム化や家庭学習の定着化に努める。
◎ 指導方法の工夫改善を図るための教職員の専門性や指導力の向上を目指す。
◎ 巡回指導教員を活用した習熟度別学習指導やTTによる指導の充実を図る。
◎ 放課後や長期休業中における補充的なサポートを充実し、基礎的・基本的な内容を定着させる。

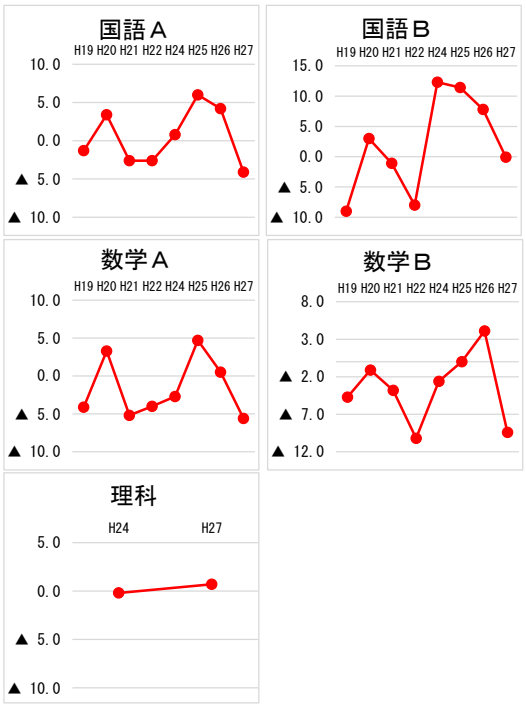
■奥尻町内中学校の状況及び学力向上策（学校数：2、生徒数：12名）

【教科全体の状況】

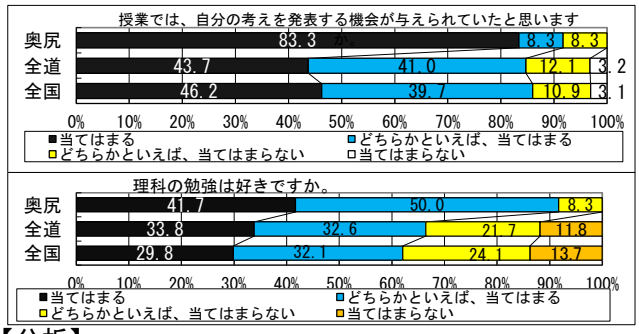
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
（市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）



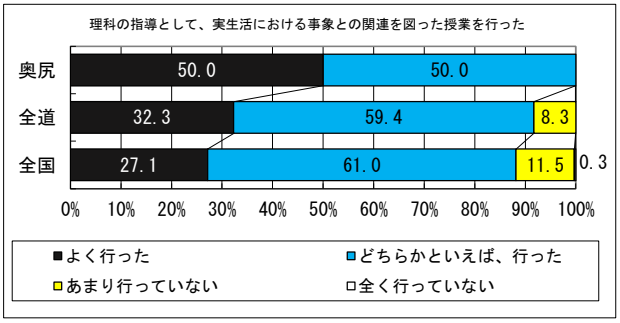
【平均正答率の全国との差の推移】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語では、B「話すこと・聞くこと」「書くこと」で全国を上回っている。 ○ 数学では、A「数と式」で全国を上回っている。 ○ 理科では、「化学的領域」「地学的領域」で全国を上回っている。	○ 授業において、自分の考えを発表する機会が与えられた経験が豊富であることから、実生活の中で自信をもって自分の思いを表現することができており、国語Bの「話すこと・聞くこと」「書くこと」の向上につながっていると考えられる。 ○ 理科については、実生活における事象との関連を図った授業を行っていることもあり、生徒の興味・関心が高く、学力の向上がみられると考えられる。
生徒質問紙	○ 授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 理科の勉強が「好き」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	
学校質問紙	○ 理科の指導として、実生活における事象と関連を図った授業を「よく行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【奥尻町の学力向上策】

◎ 学校と家庭連携を深め、生活習慣のリズム化や家庭学習の定着化に努める。
◎ 指導方法の工夫改善を図るための教職員の専門性や指導力の向上を目指す。
◎ 巡回指導教員を活用した習熟度別学習指導やTTによる指導の充実を図る。
◎ 放課後や長期休業中における補充的な学習サポートを充実し、基礎的・基本的な内容を定着させる。